

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	学事		目	02	事務局費
事業費		14,869,372 円		事業の目的・目標	市内小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国から指導助手を招致し、外国語指導を行うことを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		1,209,487 円				
	一般財源		13,659,885 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び効果

外国語指導助手が市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。二学期以降は3名体制（1名増員）となり、英語に触れる機会も大幅に増加した。生の英語に接することで、英会話への意欲・ヒアリング能力・英会話能力の向上につながり、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図るなどの姿が見られた。また、休み時間や給食時間なども子どもと共に過ごし、授業時間以外の生活時間を通じて、外国への興味・関心が高まり、国際的視野を広げる等の効果があった。

●小学校・学年別訪問授業時数 602 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	跡市小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	9	5			7	6	6	1
2年生	10	5			6	9	4	1
3年生	18	6		1	6	12	3	1
4年生	19	6	1		6	11	4	1
5年生	29	23	27		30	36	25	31
6年生	29	23	27	26	30	36	26	30
特別支援学級					5		4	1
合計	114	68	55	27	90	110	72	66

●中学校・学年別訪問授業時数 910 時間 (単位：時間)

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	75	34	113	37
2年生	90	34	113	44
3年生	86	29	111	37
特別支援学級	20	23	56	8
合計	271	120	393	126

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	9,960,728	外国語指導助手報酬 (4月～7月2名、8月以降3名)
共済費	1,496,703	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	2,160	帰国記念品
旅費	456,130	市内旅費・帰国旅費
需用費	50,856	授業用消耗品
役務費	82,104	傷害保険料 (3名分) ほか
使用料及び賃借料	2,298,617	住宅借上料・自動車リース料・会場借上料
備品購入費	165,980	住宅備品
負担金補助及び交付金	356,094	自治体国際化協会負担金 ほか
合計	14,869,372	

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	学事		目	02	事務局費
事業費		7,688,855 円		事業の目的・目標	あおぞら学園（旧跡市中学校）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒の教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、不登校の中でも、家に引きこもっていることが多い児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供する等の支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	7,688,855 円						

施策の内容、実績、及び効果

1. 教育支援センター（適応指導教室）運営事業

○事業の内容

- 運営体制 教育相談指導員1名・教科指導員7名・指導員4名
- 開設場所 あおぞら学園（旧跡市中学校）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00
- 主な内容 不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関との連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組む、学校復帰への支援を行う。

- 事業の効果
- ・体験活動を通して、集団で行う活動に取り組めるようになった。
 - ・在籍校との情報交換の機会を設け、あおぞら学園での児童生徒の状況について、情報共有ができた。また、情報共有することで、一部の生徒は学校復帰ができた。
 - ・適応指導教室（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。

2. 居場所（心のかけ橋教室）事業

○事業の内容

- 運営体制 相談員1名・支援員1名
- 開設場所 いっぽ（旧跡市中学校の教室を利用）
- 開設状況 曜日：月・水曜日 時間：13：00～16：00
- 主な内容
 - ①児童生徒への支援
 - ・家庭訪問による児童生徒の相談支援
 - ・来所した児童生徒に応じた体験活動等による支援
 - ・居場所づくり
 - ②保護者への支援
 - ・相談、家庭訪問（保護者の思いや考えを聞き、今後の支援方向等を一緒に考える）

- 事業の効果
- ・家に引きこもりがちだった児童生徒を、あおぞら学園につなぐことが出来た。
 - ・体験活動を通して、仲間意識が高まった。
 - ・保護者の悩みを聞き、同じ思いで支援することが出来た。

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
共済費	14,097	労災保険料
報償費	6,102,758	謝礼金（教科指導員・相談員・指導員・支援員）
旅費	264,510	生徒指導連絡会・他施設との交流会・家庭訪問等
需用費	245,880	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	222,627	電話料・ネット利用料・汲取料・傷害保険料
委託料	764,640	消防設備定期点検委託料
使用料及び賃借料	74,343	AED借上げ料ほか
合計	7,688,855	

事業名	学校司書等配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	学事		係	目	02	事務局費
事業費		10,525,317 円		事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	5,445,000 円						
	地方債	円						
	その他	8,580 円						
	一般財源	5,071,737 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図った。また、学校図書室を活用した授業の実施のための資料準備等を教員と連携して行った。

●事業実施校 市内の全小・中学校

- ① ボランティア（6学級未満の学校）【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 3校
跡市小学校・江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A（6学級～12学級未満の学校）【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B（12学級以上の学校）【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

○事業の効果

学校司書等の配置により、児童生徒1人あたりの年間図書貸出冊数が増加している。全小中学校で図書室の利用指導やオリエンテーションを行っており、一斉読書、読み聞かせ、推薦図書の設定紹介など、さまざまな工夫を凝らして読書活動定着に向けた取り組みを行っている。また、図書室や廊下等に本を紹介する掲示をし、学級文庫への貸し出しを行うなどして本を身近に感じられるような取り組みをした。全ての学校が授業に学校図書館を活用する機会を設けており、学校図書館の果たす役割の高さを示している。

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報酬	1,716,000	司書B報酬(1名)
共済費	285,997	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,700,000	司書A賃金(8名)
謝礼金	770,000	ボランティア謝礼金(3名)
旅費	53,320	司書研修(浜田教育センター等)
合計	10,525,317	

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	学事		係	目	02	事務局費
事業費		850,000		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して家庭に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	850,000 円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容 ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の効果

- ・家に引きこもりがちだった児童生徒の家庭を訪問し、家から出て、学校や適応指導教室へ向かうように支援した。
- ・関係機関との会議や支援会議に参加し、児童生徒の保護者の状況を伝えることで、学校と児童生徒・保護者との橋渡しをした。
- ・1人で悩んでいる保護者の苦しい思いを聞き、前向きな気持ちで子どもと向き合えるように支えた。
- ・基本的な生活習慣が身につけていない生徒の家庭を関係課や関係機関と連携し、生活環境を改善する方向へ導くことができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
賃金	763,000	相談員（1名）賃金
旅費	84,670	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
需用費	2,330	消耗品
合計	850,000	

事業名	指導主事配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	学事		係	目	02	事務局費
事業費		11,967,313 円		事業の目的・目標	①生徒指導主事1名を配置し、課題（不登校、いじめ等）を持った児童生徒の支援及び当該学校の支援・指導を行い、健全な学校経営の支援を行う。 ②英語と理科の教科の指導主事各1名を配置し、中学校英語と小学校理科・算数を中心に教員の授業力向上を図り、児童生徒の学力向上につなげる。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	7,700,000 円						
	その他	円						
一般財源	4,267,313 円							

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	66 回	38 回	104 回
授業力向上の学校訪問	112 回	68 回	180 回

○事業の実績

費目	内容等	決算額 (円)
旅費	学校訪問、諸会議、研修等	259,630
消耗品費	教材、英語・初等教育資料等	43,683
負担金補助及び交付金	指導主事3名分派遣負担金	11,664,000
合計		11,967,313

○事業の効果

①教育支援センター等の相談機関やスクールソーシャルワーカーと連携し、児童生徒や家族に寄り添った支援をすることにより、適切な学校経営の支援を図ることができた。

②小中学校へ定期的に訪問し、ねらいや振り返りの必要性、主体的・協働的に学習に関わるための課題の工夫等、授業改善について、指導・助言を行った。また、中学生へ英語学習アンケートを実施し、授業改善に役立てた。

③全国、県学力調査結果の活用について、学力育成担当者会や訪問時に繰り返し説明し、学校へ「授業改善アクションプラン」作成・実践と検証を依頼した結果、指導者が授業改善を図っている姿が多くみられた。学力育成管理職研修会を開催し、カリキュラム・マネジメントの視点で、学校教育課題の解決を行う重要性を伝えたことにより、組織的な改善に取り組む学校が増えた。

④地域でつなぐキャリア教育モデル事業では、キャリア教育フォーラムの運営及び発表等に取り組む、学校や地域への啓発普及に努め、地域住民の「江津市ふるさと・キャリア教育」への関心や児童生徒の学びに対する意識を高めることができた。

事業名	西部統合小学校建設事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 26 年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課		管理	目	01	学校管理費
事業費		3,088,800 円		事業の目的・目標	平成23年3月に策定した第2次学校整備再編基本計画に基づき、老朽化の著しい西部地区の川波小学校、津宮小学校を統合し、新校舎を建設することで、児童が安心して学習・活動できる教育環境の整備を目指す。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	3,088,800 円					
	一般財源	円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

江津市が計画する小学校統合再編整備について、計画に必要な事項等を整理・検討し、小学校建設整備に関する基本的な考えをとりまとめ、今後の事業スケジュールの見通しを検討した。

また、小学校新設に関する諸条件（児童数、職員数、学級数、付帯施設規模）等を計画条件とし、条件を満足する複数の候補地を選定し、その中から建設地を選定し、選定した敷地について施設配置計画を行った。

小学校整備の方針決定にあたっては、庁内に設置した「西部統合小学校建設検討委員会（平成25年6月1日設置）」において意見調整、協議・検討を進めた。

○事業の実績

- ・ 江津市西部統合小学校建設地選定調査業務委託料 3,088,800円 (H26年度予算繰越)

⇒建設地選定において、小中一体となった教育の推進を図る観点から、青陵中学校北側敷地を中心とした施設整備を行うことで決定した。

○事業の効果

- ・ 統合小学校の建設地が決定したことにより、統合小学校建設に向けた事業の進捗が図られた。



事業名	特別支援学級運営費（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課	学事		目	01	学校管理費
事業費			1,154,181 円	事業の目的・目標	小学校に在籍する児童のうち、障がい等により特別な支援が必要な児童に対して、支援を行うもの。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		1,154,181 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

小学校7校に設置している特別支援学級及び、津宮小学校に設置している通級指導教室において、支援を必要としている児童の学習支援を行った。
平成28年度に新設される江津東小学校の特別支援学級の整備を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	592,466	消耗品・燃料・光熱水費・修繕料
役務費	95,611	電話料・インターネット利用料・郵券代
委託費	177,120	無線LAN構築費
使用料及び賃借料	11,244	コピー機使用料（通級教室）
備品購入費	277,740	通級教室・特別支援学級の教材備品 新設学級の教材備品
合計	1,154,181	

○事業の効果

障がいのある児童が、安心して学習できる環境づくりを行った。

事業名	学力向上支援員配置事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課	学事		係	目	01	学校管理費
事業費			4,080,213 円	事業の目的・目標	児童の個々のつまずきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、児童の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		4,050,000 円					
	その他		円					
	一般財源		30,213 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

児童一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまずきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、小学校に学力向上支援員を配置した。

○事業の効果

- ・ 一斉指導で、担任の指示が分かりにくい児童への声掛けや一緒に文字を読むなど、個に応じた支援を行った。その結果、学習内容の理解が進んだ。
- ・ 困り感のある児童へ寄り添うことで、児童が安心感を持って授業に取り組むことができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	11,253	労災保険料
報償費	4,068,960	謝礼金（学力向上支援員19名）
合計	4,080,213	

事業名	特別支援教育支援員配置事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課	学事		目	01	学校管理費
事業費			8,273,265 円	事業の目的・目標	小学校の通常の学級に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の障がいを持つ児童に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		8,273,265 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、小学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な児童に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、小学校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の効果

- ・ 授業に集中して取り組むことができない児童や指示が伝わりにくい児童の声掛けや個別の支援をすることで、落ち着いて学習できる環境をつくることができた。
- ・ 担任と連絡ノートを使用して、情報交換や支援の方法について、細かく連携をとり、必要な支援を適切に行うことができた。
- ・ 担任と支援員という複数で関わることで、多角的な視点から児童理解が深まり、効果的な支援が学校全体で行うことができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	19,089	労災保険料
報償費	8,254,176	謝礼金（特別支援教育支援員12名）
合計	8,273,265	

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課	管理		係	目	01	学校管理費
事業費			40,512,424 円	事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。			
財源内訳	国庫支出金		3,070,000 円					
	県支出金		円					
	地方債		5,600,000 円					
	その他		円					
	一般財源		31,842,424 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
郷田小	2	松川町、川平町
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町
川波小	1	有福温泉町
桜江小	4	桜江町

●経費内訳

・需用費	4,440,030 円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	1,071,454 円	(車検手数料、保険料等)
・委託料	26,015,040 円	(スクールバス運行委託料)
・備品購入費	8,748,000 円	(桜江小スクールバス購入費)
・公課費	237,900 円	(自動車重量税)
計	40,512,424 円	

○事業の効果

郷田小学校区、江津東小学校区、川波小学校区、桜江小学校区の遠距離通学児童の安全な通学を確保している。



事業名	小学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育	課	管理・学事		目	02	教育振興費
事業費		41,360,454 円		事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な児童及び特別支援学級へ就学する児童への援助、図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	993,000 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	3,273,168 円					
	一般財源	37,094,286 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●小学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	2,521,930	対象人員 143 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
学校給食費	6,509,785	対象人員 143 人
生徒会・PTA会費	529,142	対象人員 143 人
学校医療費	275,785	対象人員 60 人
特別支援教育費	434,505	対象人員 13 人
合計	10,271,147	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

市内8小学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置した。
パソコンの基本操作に慣れ、インターネット等を使って必要な情報を収集して学習に役立てた。
電子教材を使った授業等により児童の関心を高めることができた。

・コンピューター借上料 15,202,728円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	107,484	入学祝い・卒業記念品
需用費	5,702,731	教師用指導書(※)・消耗品・社会科副読本
委託費	261,534	配信プリントシステム委託料
備品購入費	9,814,830	図書購入費・教材購入費
合計	15,886,579	

※うち需用費 2,073,168円は前年度繰越分 教師用指導書

事業名	特別支援学級運営費（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	学校教育	課	学事		目	01	学校管理費
事業費			392,132 円	事業の目的・目標	中学校に在籍する生徒のうち、障がい等により特別な支援が必要な生徒に対して、支援を行うもの。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		392,132 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

中学校4校に設置している特別支援学級及び青陵中学校に設置している通級指導教室において、支援を必要とする生徒が適切な学習ができるよう支援を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	212,188	消耗品・燃料費
役務費	34,197	郵券代
備品購入費	145,747	教材備品
合計	392,132	

○事業の効果

障がいのある生徒が、安心して学習のできる環境づくりを行った。

事業名	学力向上支援員配置事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	学校教育	課	学事		係	01	学校管理費
事業費		5,098,508 円		事業の目的・目標	生徒の個々のつまずきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	5,050,000 円					
	その他	円					
	一般財源	48,508 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

生徒一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまずきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、中学校に学力向上支援員を配置した。

○事業の効果

- ・ 支援員の学習支援により、困り感のある生徒の学習意欲や学力の向上が図られた。
- ・ 支援方法や学習状況など、担任・授業担当者との情報交換することで、授業改善をすることができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	12,308	労災保険料
報償費	5,086,200	謝礼金（学力向上支援員13名）
合計	5,098,508	

事業名	特別支援教育支援員配置事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	学校教育	課	学事		目	01	学校管理費
事業費		1,529,552 円		事業の目的・目標	中学校の通常の学級に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の障がいを持つ生徒に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	1,529,552 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、中学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、中学校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の効果

- ・ 一斉指導では指示が通らない生徒に対し、教科書やノートの準備や読み取りについて、支援員がサポートすることで、落ち着きを取り戻したり、安心して学習することができた。
- ・ 授業以外の時間において、学校生活上の支援を必要としている生徒のサポートを行い、安定した学校生活を送ることができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	3,692	労災保険料
報償費	1,525,860	謝礼金（特別支援教育支援員6名）
合計	1,529,552	

事業名	スクールバス運行事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	学校教育	課	管理		目	01	学校管理費
事業費						15,047,698	円
財源内訳	国庫支出金						円
	県支出金						円
	地方債						円
	その他					954,380	円
	一般財源					14,093,318	円
				事業の目的・目標	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
江津中	※	松川町、川平町
青陵中	2	跡市町、千田町、井沢町、清見町、有福温泉町
桜江中	1	桜江町

※江津中は小学校のスクールバスを利用

●住民利用

- ・利用車両 桜江中バス
- ・区間 川戸駅～風の国
- ・利用者数 3,795 人
- ・運賃収入 954,380 円

●経費内訳

- ・需用費 2,583,288 円（燃料費、修繕料等）
- ・役務費 242,490 円（車検手数料等）
- ・委託料 12,127,320 円（スクールバス運行業務委託料）
- ・賃借料 16,000 円（建物使用料）
- ・公課費等 78,600 円（自動車重量税等）
- 計 15,047,698 円

○事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区の遠距離通学生徒の安全な通学を確保している。また、桜江地区住民の交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名	中学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	学校教育	課	管理・学事		目	02	教育振興費
事業費		35,514,116 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級へ就学する生徒への援助及び図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	670,000 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	200,000 円					
	一般財源	34,644,116 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●中学校就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	4,083,795	対象人員 98 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
学校給食費	4,739,700	対象人員 98 人
生徒会PTA会費	732,321	対象人員 98 人
学校医療費	68,355	対象人員 26 人
特別支援教育費	793,410	対象人員 13 人
合計	10,417,581	

●中学校教育用コンピュータ整備事業

市内4中学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置した。
パソコンの特性を踏まえ、インターネット等からの情報を学習に有効に役立てた。

・コンピューター借上料 12,199,059円

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	210,100	卒業記念品
需用費	4,307,324	消耗品・楽器の修繕料
役務費	275,780	桜江中学校遠距離通学生徒定期券代 (JR)
委託費	388,800	配信プリントシステム委託料
備品購入費	7,715,472	図書購入費・教材購入費
合計	12,897,476	

事業名	江津市教育研究会助成事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育	課	管理		目	02	事務局費
財源内訳	事業費		5,381,771 円	事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		4,600,000 円				
	その他		円				
一般財源		781,771 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

●小学校外国語活動充実事業

- ・英語指導講師を招き、研修会を開催する

①H27.12.3 桜江小学校 江津市教育委員会 堀康弘指導主事 橋井泰治指導主事 参加者11名

②H28.2.18 高角小学校 広島文教女子大学非常勤講師 篠村恭子氏 参加者19名

- ・小学校英語教育学会広島大会へ参加し、教員の資質向上を図る

H27.7.25~26 広島大学 東広島キャンパス 参加者11名

●中学生キャリア教育推進事業（H27.8.3 市民センター）

「これからの人生をどう生きるか」

講師 文教大学学園 学園長 石田 恒好氏

対象 市内中学生 634人

●教職員資質向上研修に関する事業

①校内研修会を行う

定期的に全教員が研究事業を行い、適宜研究協議を行う

H27.8.28開催 講師 山陽学園大学総合人間学部教授 近藤 卓氏 講話会

H28.2.1開催 講師 植草学園短期大学主任教授 佐藤 慎二氏 講話会

H28.2.5開催 講師 寮 美三子事務所 松永 洋介氏 講話会

②教職員を対象にしたコミュニケーション講座の実施

H27.12.28 上越大学大学院 教授 赤坂 真二氏 講演会

●事業費用

項目	決算額(円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	160,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	82,000
3. 島根県幼稚園教育研究会・全国国公立幼稚園長会負担金	18,250
4. 生徒指導研修会補助金	20,000
5. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	232,300
6. 江津市教育研究会研究補助	300,000
7. 児童文化振興費補助金	209,000
8. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	330,000
9. 教職員研修会補助金	10,000
10. 校内研修会補助金	39,000
11. 江津市学校保健会補助金	160,000
12. 島根県学校保健会補助金	20,000
13. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
14. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
15. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
16. 総合学習に伴う補助金（小・中）	540,000
17. 総合学習に伴う補助金（幼）	18,000
18. 江津市小中学校資質向上研修補助	823,450
19. 中学校キャリア教育推進事業	502,771
20. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
21. 情報講習会開催補助金	450,000
22. 県社会科教育研究大会補助金	200,000
23. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,381,771

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	公民館費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育		目	02	公民館費
事業費		29,609,601 円		事業の目的・目標	個人の要望と社会の要請に応えた学びの場を提供する。地域の社会教育施設としての機能を担保するための管理・運営を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	640,764 円					
	一般財源	28,968,837 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容 公民館の管理・運営

○事業費の内訳等

・人件費 20,886,691 円

	金額	備考
報酬費	18,219,600	館長、主事
共済費	2,073,687	雇用保険料、社会保険料、労災保険料
賃金	417,924	生涯学習センター清掃員賃金
旅費	175,480	職員会議、公民館研究集会等各種研修参加

・物件費 7,136,605 円

	金額	備考
需用費	3,962,938	消耗品費、燃料費、光熱水費
役務費	898,608	通信運搬費、手数料、火災保険料
委託料	846,180	消防設備点検、防火対象物点検、浄化槽管理
使用料及び賃借料	816,769	土地借上料、CATV・テレビ視聴料、AEDレンタル料
負担金及び交付金	86,140	県公連負担金、防火管理者研修受講負担金
備品購入費	525,970	パソコン、プリンタ、ガスコンロ、FAX付電話機

・工事費等 1,586,305 円

	修繕費	補修材料費	修繕内容
渡津公民館	41,034		浄化槽ベルト交換、研修室ブラインド
郷田公民館	31,320		公民館入口外灯
金田公民館			
和木公民館	932,040		非常階段、アルミ建具
都野津公民館	33,480		ハロゲンランプ
波子公民館	40,500		煙感知器、漏水
市山公民館	118,051	10,800	玄関・廊下ガラス、ベランダ裏モルタル、公民館前通路砂利埋め
川戸公民館	379,080		外壁樋、小便器、照明器具
谷住郷公民館			
合計	1,575,505	10,800	

○事業の効果 社会教育施設として必要な維持管理と、地域住民の学びをつくるための職員の資質向上のための研修の推奨と、地域コミュニティ組織構築のための支援を行った。

事業名	公民館活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育		目	02	公民館費
事業費		2,312,000 円		事業の目的・目標	地域のさまざまな課題解決に向け、地域の財産を活かした公民館活動を支援する。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	2,312,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

公民館等名	取組内容(プログラム名)	主なねらい
波積交流センター	地域がつながるご縁事業	地域の繋がりを持ち、活性化の為の意見を出しこれからの波積を考える。
黒松交流センター		
都治交流センター	「楽しく学ぼう」事業	将来の地域を担う人材の育成
浅利交流センター	浅利寺子屋ほか	地域の子どもの学力支援と仲間づくり
松平交流センター	生涯学習いきいき事業	高齢社会の課題を地域課題とし、一人ひとりが生き生きと歩む取組
渡津公民館	高齢者教室	高齢者の生きがいがいづくりと、地域参画へつなげる
郷田公民館	郷田地区文化祭	子ども、保護者、地域住民の協力による実行から、地域のつながりをつくる
金田公民館	ふれあい農業体験塾	地域外の親と子、地元住民と一緒に地域の休耕田を活かした生産活動を行い、地域の活性化を図る
嘉久志交流センター	嘉久志「学び・育み・伝える」事業	様々な学びの活動をとおり郷土愛を育み醸成を図る
和木公民館	生涯学習教室	ロシア語教室を通じて、地域のつながりとイ号救援活動における地域の誇りを育む
都野津公民館	つながりづくりのための健康マージャン	公民館活動参加者の固定化打破と、これからの地域コミュニティ参画者の発掘
二宮交流センター		
跡市交流センター	跡市小学校閉校関連事業	閉校ではなく未来に向けての出発点とするため
敬川交流センター	敬川地域行事〔支援隊〕結成事業	将来の地域コミュニティ組織を担う人の育成
波子公民館	波子町文化祭、子ども若者健全育成	地域コミュニティ活動の推進に向けての地域のつながりづくり
有福温泉交流センター	「大人と子どものふるさと教育」推進事業	人材の育成・発掘による地域資源の発展的継承
長谷交流センター	住民の学習環境整備事業	住民の学習ニーズに対する学習機能・環境の提供
市山公民館	小学校振替休日支援	地域の子どもの健全育成と、地域住民の「子どもたちを地域で育てる」意識の高揚を図る
川戸公民館	総合文化展	普段の生涯学習の成果を発表する場
谷住郷公民館	谷住郷夜桜まつり	地域の宝を活かし、地域住民の交流と、伝統芸能保存・継承の意識高揚を図る。
川越交流センター	地域づくり計画作成事業	将来の地域コミュニティ組織を担う人材の育成

○事業の効果

各公民館で計画し、実施する地域課題解決へつながる地域住民の学びをつくる活動を支援した。

事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育	係	目	03	図書館費
事業費 (A)				24,695,676 円	事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由に公平な利用ができる場を提供する。	
財源内訳	国庫支出金			円			
	県支出金			円			
	地方債			円			
	その他			60,000 円			
	一般財源			24,635,676 円			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

節	金額	備考
報酬	20,400	図書館協議会委員報酬
旅費	2,800	図書館協議会委員旅費
需用費	1,434,214	光熱水費
修繕料	540,000	修繕費(カーテンウォール打替)
役員費	12,584	自動車損害保険料
委託料	21,069,740	指定管理料20,999,000円 桜江分館清掃業務70,740円
備品購入費	1,599,938	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	24,695,676	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成27年度末	蔵書冊数
本館	66,740 冊	1,681 冊	268 冊		68,153 冊
桜江分館	16,883 冊	549 冊	28 冊		17,404 冊
計	83,623 冊	2,230 冊	296 冊		85,557 冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	282 日	281 日	16 回	
入館者数	15,234 人	4,555 人		19,789 人
利用者数	9,719 人	2,006 人		11,725 人
登録者数	1,163 人	360 人		1,523 人
貸出冊数	31,108 冊	4,504 冊	259 冊	35,871 冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書入門講座	3 人	12 回	毎月第3土曜日 14:00~16:00
古文書を読む会	21 人	12 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	8 人	11 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
あすなろ読書会	6 人	10 回	毎月第2木曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	8 人	8 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00
としょかんクラブ	8 人	5 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00
としょ活	毎回募集	12 回	毎月第3木曜日 19:00~20:30

●その他

・催し

8月9日(日) 江津市図書館まつり 参加延 135人
5月10日(日) 江津市図書館桜江分館まつり 参加延 81人

・広報活動

図書館報「洗心」・新着図書案内の発行 年12回
市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回
ツイッター、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信(随時)

・研修生、実習生、ボランティアの受入れ

職場体験：中学生4名
ボランティア：読み聞かせ、事務補助(延べ62名)

・学校司書への協力

学校図書館支援図書(県委託)等でのサポート
市内小学校訪問(跡市小を除く) 11/18-19

○事業の効果

図書館環境整備の充実、文化活動への支援、広報活動等を通じて、市民、利用者への意識が高まり、図書館利用者への増加につながっている。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	人権同和教育	課	人権同和教育		係	目	04	社会人権同和教育費
事業費 (A)		551,507 円		事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	551,507 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概 要	決算額
<p>●人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を考えるつどい、みんなで考える人権のつどい（巡回講演会） 地域別人権問題研修会、人権・同和教育主任等研究協議会の開催 ・人権啓発展の開催 <p>●人権教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考える人権のつどいの開催 期間：7月～3月 会場：市内8公民館・10地域コミュニティ交流センター 演題：「暮らしの中の人権IV～支え合い共に生きる～」 講師：二又 茂樹さん（社会教育指導員） 参加者数述べ：373人 ・地域別人権問題研修会の開催 演題：「生きる」ということ 講師：三浦成人さん（源氏ほたるの会） ：12月 1日 江東中学校（参加者数延べ：613人） ：12月 3日 青陵中学校 ：12月 3日 江津中学校 講演：12月 8日 桜江中学校（参加者数：76人） 演題：「自分を好きになる力・自分を活かそうとする力」 講師：土田光子さん（大阪教育大学非常勤講師） ・人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：94人） 内容：記念講演・分科会 	324,587
<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発作品展の開催 期間：12月2日～10日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 消耗品費：226,920円（応募作品記念品等） 	226,920
合 計	551,507

○事業の効果

市内公民館8館、地域コミュニティ交流センター10館を巡回する講演会と地域別人権問題研修会により、より一層の人権教育の推進が図られた。

事業名	社会教育活動費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育		係	目	06
事業費 (A)				982,026 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。	
財源内訳	国庫支出金			円			
	県支出金			円			
	地方債			円			
	その他			円			
	一般財源			982,026 円			
施策の内容、実績、及び効果							
1 出前講座 82,026 円							
○事業の内容							
●出前講座 市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。							
○事業の実績							
●実施件数および参加者数 117件 3,263人 (平成26年度 173件 4,043人)							
○事業の効果 【受講者・アンケートより】							
・学校で習っていない昔の道具がたくさん見れてとても嬉しかったです。郷土資料館が図書館のそばにあるなんて初めて分かりました。							
・子どもの健康で月齢別の話や、食育について調理実習があり興味深く聞くことが出来た。また、育児の悩みについて質疑応答もあったので、悩みの多くが解決された。							
・手口が巧妙になり、被害に遭わないように努力しても高齢者には対応が難しくなってきた。研修回数を重ねること、隣近所のつながりを大事にすることが重要だと思った。							
○事業費の内訳							
印刷製本費 (出前講座メニュー表)				70,200 円			
消耗品費				0 円			
通信運搬費				11,826 円			
計				82,026 円			
2 地域活動支援事業 900,000 円							
○事業の内容							
女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。							
○実施主体							
江津市連合婦人会、各地域14婦人会							
○事業の実績							
●実施件数および参加者数 99回 5,045人							
○事業の効果							
激動する地域社会に対応するために、いろいろな地域課題の解決に各地域婦人会と連携しながら情熱を持って取り組み、明るい安心・安全な地域づくりに努めました。							
特に連合婦人会としては、今年度は「戦後70年を語り継ぐこと」をテーマに活動を展開いたしました。戦争の惨めさを原爆の生々しい体験、高齢でありながら、懸命に語り部として頑張っておられる姿に感動いたしました。							
○事業費の内訳							
委託料 (各地区へ25,000円、連合会550,000円)				900,000 円			

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育		係	目	06	社会教育活動費
事業費		1,140,000 円		事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	1,140,000 円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が活かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。
 小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。
 中学校では主に、地域の職場を見学したり、実際に業務の一部を体験することで、ふるさとの地場産業に触れ、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

○事業費

	ふるさと教育の経費		計
	報償費	活動経費	
郷田小学校		70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	6,000	64,000	70,000
跡市小学校	15,600	54,400	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校	3,600	66,400	70,000
高角小学校	22,800	47,200	70,000
桜江小学校	17,400	52,600	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校		70,000	70,000
青陵中学校	18,600	51,400	70,000
桜江中学校	14,400	55,600	70,000
教育委員会事業費	106,980	193,020	300,000
計	225,780	914,220	1,140,000

事業名	学校支援地域本部事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育 課	社会教育 係			目	06	社会教育活動費
事業費		963,000 円		事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	642,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	321,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校においての学校支援ボランティアへの取組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. コーディネーター等連絡会議

【第一回：6/24、第二回：9/18 第三回：3/23】

①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

3. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 685日
- ・参加人数(延べ) : 合計4,153人

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動が、学校の依頼に応えるものだけから、地域コミュニティ組織との連携に向けたコーディネート活動につながりはじめた地域も見られるようになってきた。

・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

○事業費の内訳

区分	地域教育協議会の活動経費	教育支援活動の経費	計	内容
諸謝金		658,400	658,400	コーディネート活動謝金
旅費	27,000		27,000	研修会、地域協議会出席者旅費
消耗品費	23,480	197,868	221,348	会議資料紙代等消耗品
通信運搬費	7,052	49,200	56,252	ボランティア連絡用切手
計	57,532	905,468	963,000	

事業名	未来を拓く江津塾事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育 課	社会教育 係		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)		3,871,000 円	事業の目的・目標	地域において、伝統文化や伝統芸能、また、地域独特の産業に携わる方々に、それを継承する場を学社融合の理念から学校に設ける。また、江津市の子どもたちに体験型、実験型コンテンツを用いて、科学を通じた人間教育・人材育成を行うとともに、江津で生まれた子どもは地域で育て地域で生かすという「ふるさと教育」の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	3,800,000 円				
	その他	円				
一般財源	71,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

ロボット制御を通じて、観察力・問題解決能力・理論的思考法の習得、コミュニケーション能力の向上と語学力の発達を図る。また、講演会を開催し、世界に目を向けるような子どもを育てる。

- ・市内小学校におけるロボット体験教室の開催
- ・「子どもの理科離れをなくす会」代表の北原達正氏による講演会の開催
- ・子どもたちを対象とした、ロボット教室の開催
- ・サッカーロボット江津市大会、県大会の実施

○事業の効果

サッカーロボット教室では、プログラミングによるロボット操作を経験し、科学に対する関心を高めることができた。

コーチ、役員等には地元の方に協力いただいております、地域の人材による子どもを育てる体制ができつつある。

ロボットサッカー大会は江津ノード、島根県大会、全国大会を経験し、特に本年度は全国大会で跡市小のチームが準優勝を果たすなど、子どもたちにとっての大きな経験と夢を与えた。

○事業費 NPO法人 「てごねっと石見」 に委託 委託料 3,871,000円

節	金額	備考
給料	1,860,000	指導責任者
賃金	432,000	スタッフ賃金
需用費	530,444	消耗品、光熱水費、修繕料他
報償費	420,000	講師報償費
印刷製本費	30,000	チラシ作成・印刷
公課費	598,556	
合計	3,871,000	

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計																																																																																		
					款	10	教育費																																																																																		
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費																																																																																	
担当部署	社会教育	課	社会教育		係	目	06	社会教育活動費																																																																																	
事業費		8,376,473 円		事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを受取る側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。																																																																																				
財源内訳	国庫支出金	円																																																																																							
	県支出金	5,584,000 円																																																																																							
	地方債	円																																																																																							
	その他	円																																																																																							
	一般財源	2,792,473 円																																																																																							
<p>施策の内容、実績、及び効果</p> <p>○事業の内容 ●放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業） 放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。</p> <p>○事業の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(実施場所)</th> <th>年間実施日数</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●郷田っこひろば</td> <td>(郷田小学校区)</td> <td>年間実施日数</td> <td>45 日</td> </tr> <tr> <td>●アフタースクールまつひらっこ</td> <td>(郷田小学校区)</td> <td>〃</td> <td>2 日</td> </tr> <tr> <td>●渡津子どもひろば</td> <td>(渡津小学校区)</td> <td>〃</td> <td>28 日</td> </tr> <tr> <td>●江津東すこやか広場</td> <td>(江津東小学校区)</td> <td>〃</td> <td>130 日</td> </tr> <tr> <td>●跡市放課後子どもクラブ</td> <td>(跡市小学校区)</td> <td>〃</td> <td>217 日</td> </tr> <tr> <td>●波っ子クラブ</td> <td>(川波小学校区)</td> <td>〃</td> <td>12 日</td> </tr> <tr> <td>●有福温泉子ども教室</td> <td>(川波小学校区)</td> <td>〃</td> <td>42 日</td> </tr> <tr> <td>●都野津子ども教室</td> <td>(津宮小学校区)</td> <td>〃</td> <td>7 日</td> </tr> <tr> <td>●二宮集いの家</td> <td>(津宮小学校区)</td> <td>〃</td> <td>247 日</td> </tr> <tr> <td>●つのみやっこ広場</td> <td>(津宮小学校区)</td> <td>〃</td> <td>77 日</td> </tr> <tr> <td>●角っこひろば</td> <td>(高角小学校区)</td> <td>〃</td> <td>53 日</td> </tr> <tr> <td>●川越安心ひろば</td> <td>(桜江小学校区)</td> <td>〃</td> <td>53 日</td> </tr> <tr> <td>●桜江小学校放課後子ども教室</td> <td>(桜江小学校区)</td> <td>〃</td> <td>165 日</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計</td> <td>1,078 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。 放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られる。 集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。 そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。 地域住民の参画：のべ3,802人　子どもの参加：のべ22,263人 <p>○事業費の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>7,311,300</td> <td>各教室コーディネーター等謝金</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>43,420</td> <td>研修会等旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>505,523</td> <td>各教室消耗品等</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>431,990</td> <td>各教室コーディネーター等保険料</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>84,240</td> <td>新規開設場所備品（保管庫）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,376,473</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									(実施場所)	年間実施日数	日数	●郷田っこひろば	(郷田小学校区)	年間実施日数	45 日	●アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	〃	2 日	●渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	〃	28 日	●江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	〃	130 日	●跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	〃	217 日	●波っ子クラブ	(川波小学校区)	〃	12 日	●有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	〃	42 日	●都野津子ども教室	(津宮小学校区)	〃	7 日	●二宮集いの家	(津宮小学校区)	〃	247 日	●つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	〃	77 日	●角っこひろば	(高角小学校区)	〃	53 日	●川越安心ひろば	(桜江小学校区)	〃	53 日	●桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	〃	165 日				合計	1,078 日	節	金額	内容	報償費	7,311,300	各教室コーディネーター等謝金	旅費	43,420	研修会等旅費	需用費	505,523	各教室消耗品等	役務費	431,990	各教室コーディネーター等保険料	備品購入費	84,240	新規開設場所備品（保管庫）	計	8,376,473	
	(実施場所)	年間実施日数	日数																																																																																						
●郷田っこひろば	(郷田小学校区)	年間実施日数	45 日																																																																																						
●アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	〃	2 日																																																																																						
●渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	〃	28 日																																																																																						
●江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	〃	130 日																																																																																						
●跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	〃	217 日																																																																																						
●波っ子クラブ	(川波小学校区)	〃	12 日																																																																																						
●有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	〃	42 日																																																																																						
●都野津子ども教室	(津宮小学校区)	〃	7 日																																																																																						
●二宮集いの家	(津宮小学校区)	〃	247 日																																																																																						
●つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	〃	77 日																																																																																						
●角っこひろば	(高角小学校区)	〃	53 日																																																																																						
●川越安心ひろば	(桜江小学校区)	〃	53 日																																																																																						
●桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	〃	165 日																																																																																						
			合計	1,078 日																																																																																					
節	金額	内容																																																																																							
報償費	7,311,300	各教室コーディネーター等謝金																																																																																							
旅費	43,420	研修会等旅費																																																																																							
需用費	505,523	各教室消耗品等																																																																																							
役務費	431,990	各教室コーディネーター等保険料																																																																																							
備品購入費	84,240	新規開設場所備品（保管庫）																																																																																							
計	8,376,473																																																																																								

事業名	放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	社会教育		係	目	06	社会教育活動費
事業費 (A)			68,606,057 円	事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。			
財源内訳	国庫支出金		12,474,000 円					
	県支出金		12,474,000 円					
	地方債		17,200,000 円					
	その他		12,267,923 円					
	一般財源		14,190,134 円					

○ 施策の内容、実績

節	金額	備考
報酬	23,938,792	指導員報酬
共済費	3,843,468	指導員共済費（社会保険他）
賃金	2,336,040	補助員
旅費	29,780	指導員旅費
需用費	1,322,592	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	336,353	通信費、損害保険料他
委託料	19,854,268	運営委託（桜江、川波、渡津、郷田） 浄化槽管理81,000円
使用料及び賃借料	24,624	C A T V
工事請負費	16,848,000	高角放課後児童クラブ増築 16,848,000円
備品購入費	59,800	高角 冷蔵庫、テレビほか
負担金及び交付金	12,340	防火管理者講習
合計	68,606,057	

平成28年3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数					合計
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	
津宮放課後児童クラブ	6	23	23	22		68
高角放課後児童クラブ	5	33	9	13	2	57
江津東放課後児童クラブ	3	8	10	6		24
桜江放課後児童クラブ	3	10	10	12		32
渡津放課後児童クラブ	2	9	8	5		22
川波放課後児童クラブ	2	4	6	2	3	15
郷田放課後児童クラブ	3	7	17	10		34
計	24	94	83	70	5	252

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	教育コミュニティ創造ふるさと学習支援事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課		社会教育	係	目	06
事業費			3,899,461 円	事業の目的・目標	江津市のソーシャルキャピタルを豊かにし、地域の活性化を図るために、地域と学校の協働で行われる「ふるさと学習」を支援することで、将来、江津市を担う人材の育成とともに、地域の人材育成と学びを媒体とした学校・家庭・地域のつながりを創造します。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		3,800,000 円				
	その他		円				
	一般財源		99,461 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

各小中学校が主体となって行う次にあげる活動を、江津市で支援します。

- (1) 郷土史、伝統文化、郷土芸能等の研究者・従事者を招いた講演
- (2) 伝統工芸、先端技術、特色のある技能等の体験活動
- (3) 自然体験活動・自然学習活動
- (4) 地域住民と一緒にを行う社会貢献活動
- (5) 職場体験
- (6) 放課後等に行う学習活動
- (7) 通学合宿 (NPO委託事業)
- (8) その他、江津市の特色ある教育として支援すべきと教育委員会が認める活動

○事業の実績

①各校で行われた主な「ふるさと学習」

実施校：郷田小、渡津小、江津東小、跡市小、川波小、津宮小、高角小、桜江小
江津中、江東中、青陵中、桜江中

- ・地域の伝統芸能を学ぶ
祇園太鼓、ホーランエー、笛、太鼓、神楽、人麻呂など
- ・地域の歴史、自然を学ぶ
江津本町、江の川、サツマイモづくり、石見銀山とのつながり、天領、植物採集など
- ・地域貢献活動、社会福祉体験
高齢者世帯宅への弁当配布、河川清掃活動、保育所訪問、高齢者福祉施設訪問など
- ・キャリア教育の視点での活動
地域の企業を招いて行う生徒との座談会、工場見学、職場体験など
- ・学力保障
放課後補充授業、ロボット教室、コミュニケーション講演会など
- ・情報リテラシー講演会
児童・生徒、教員、保護者を対象に情報教育に関する講演会を実施

②通学合宿の実施 (NPO法人てごねっと石見委託)

一回目 11月29日(日)～12月2日(水) 参加児童66名 参加ボランティア27名
二回目 12月6日(日)～12月9日(水) 参加児童55名 参加ボランティア23名
参加児童は4年生の65%

○事業の効果

- ・児童・生徒が地域を知ること、ふるさとを愛する心を育み、将来の江津を担う人材としての成長を図っている。
- ・児童・生徒の地域での活躍は、自己肯定感や自己有用感につながり、長い目でみると学力の向上につながる。
- ・子どもの成長を目の当りにする地域住民の感動や充実感は地域活動の活力につながると考えられる。
- ・子どもの成長に、多様な地域の人に関わるなかで、相互の結びつきが生まれ、地域の絆を強める一助になった。
- ・キャリア教育モデル事業との連携により、事業の深化がみられる。

○事業費の内訳

区分	ふるさと学習支援	通学合宿	計	内容
報償費	1,377,813		1,377,813	ふるさと学習講師謝金、研修会講師謝金、地域学習ボランティア謝金
旅費	1,180		1,180	ふるさと学習講師旅費
需用費	865,340		865,340	活動消耗品、燃料費、修繕料等
役務費	265,680		265,680	連絡郵券料、体験学習手数料
委託料		1,250,920	1,250,920	てごねっと石見(通学合宿)
原材料費	138,528		138,528	教材材料費
計	2,648,541	1,250,920	3,899,461	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 27 年度	事業進捗率		100 %	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課		文化振興	目	08	文化財保護費
事業費		29,308,384 円		事業の目的・目標	埋蔵文化財の適切な保護・活用		
財源内訳	国庫支出金	1,100,000 円					
	県支出金	18,900,000 円					
	地方債	円					
	その他	1,427,921 円					
	一般財源	7,880,463 円					
<p>○施策の内容、実績 開発事業に際し、事業地内の埋蔵文化財に適切な保護処置を施す。 必要に応じて発掘調査を実施し、成果をまとめる。</p> <p>●本町川改修事業（発掘調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田県土整備事務所委託事業（100%補助） ・内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査成果の整理作業 ・委託期間：平成27年4月10日～平成28年3月18日 ・決算額：11,362,803円、委託金額：11,300,000円 共済費：655,724円、賃金：4,936,838円、需用費：1,191,325円 役務費：61,850円、使用料及び賃借料：4,517,066円 <p>●八神上ノ原遺跡発掘調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田県土整備事務所委託事業（95%補助） ・内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査 ・委託期間：平成27年6月1日～平成28年2月29日 ・決算額：8,019,648円、委託金額：7,600,000円 共済費：235,476円、賃金：5,636,201円、需用費：434,732円、役務費：4,217円 使用料及び賃借料：876,342円、委託料：832,680円 <p>●遺跡発掘調査費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業（50%補助） ・内容：開発に伴う埋蔵文化財所在の有無確認を目的とした試掘調査、鉄製品保存処理 ・期間：平成27年4月9日～平成28年3月31日 ・決算額：2,213,111円、補助金額：1,100,000円 共済費：4,747円、賃金：1,572,396円、需用費：84,575円、役務費：1,890円 使用料及び賃借料：50,543円、委託料：498,960円 <p>●富金原・小川共同窯跡調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託事業（100%補助） ・内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査 ・委託期間：平成27年4月20日～平成27年5月29日 ・決算額：1,422,690円、委託金額：1,400,000円 共済費：1,615円、賃金：535,468円、需用費：36,592円、役務費：6,615円 委託料：842,400円 <p>●森原上ノ原遺跡発掘調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田県土整備事務所委託事業（95%補助） ・内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査 ・委託期間：平成27年9月18日～ ※繰越事業としてH28年度継続調査 ・決算額：6,290,132円 共済費：13,493円、賃金：4,468,926円、需用費：130,085円、役務費：3,402円 委託料：964,197円、使用料及び賃借料：710,029円 残額：11,463,874円（H28年度へ繰越） <p>○施策の効果 調査の成果は、文化財保護思想の普及啓発のため、現地説明会を開催し周知した。また、随時「出前講座」を通じて活用している。 市民・研究者からの問合せに対し、適切な対応をするための資料として活用している。</p>							

事業名	水の国管理事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育	課	文化振興		目	09	生涯学習施設管理費
事業費		12,583,651 円		事業の目的・目標	市民の文化意識を啓発し、創造力、鑑賞力の向上に努め、文化活動の振興を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	659,570 円					
	一般財源	11,924,081 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

区分	分	決算額(円)	備考
水の国・松林宗恵映画記念館業務委託事業	指定管理料	12,104,000	人件費、光熱水費、設備保守等
	指定管理料(企画展示)	450,000	展示ペイント等
	小計	12,554,000	
一般管理費	役務費	26,651	火災保険料等
	負担金	3,000	しまねミュージアム協議会負担金
	小計	29,651	
合	計	12,583,651	

●入館者及び入館料

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者(人)	145	445	80	158	636	135	86
入館料(千円)	47.3	145.4	27.7	52.2	182.7	46.7	30.4
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者(人)	115	28	21	28	159	2,036	人
入館料(千円)	40.3	9.4	7.6	9.6	25.4	624.7	千円

松林宗恵映画記念館入館者数 2,390人

●事業報告

- ・水の国正面の山「甘南備寺山」大研究 4月9日～6月1日
- ・桜江ノンプロ作家展 4月24日～5月21日
- ・ふるさと市 5月3日
- ・川越公民館お茶の会による野点 5月16日
- ・壮絶！ゲリラ豪雨 江津の局地気象 6月18日～7月20日
- ・森林大好き！自然大好き！ 7月13日～8月31日
- ・夏休み大作戦！化石鉱物隕石大集合 7月25日～8月31日
- ・鮎のつかみ取り・森林教室 8月15日
- ・江ノ川の局地気象「うん、かい？」 9月19日～4月4日
- ・水の国お笑い寄席 3月20日

○事業の効果

各種事業を年間を通じて開催することにより、集客に一定の効果が図られた。

事業名	学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	06	保健体育費
担当部署	学校教育課	課	管理		目	02	学校給食費
事業費		102,649,454 円		事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	690,453 円					
	一般財源	101,959,001 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

	学校名	実施日数（日）	実施食数（食）
配食実績	郷田小学校	189	24,636
	渡津小学校	185	21,521
	江津東小学校	190	25,575
	跡市小学校	181	1,792
	川波小学校	193	18,168
	津宮小学校	194	71,857
	高角小学校	190	48,904
	桜江小学校	193	23,781
	江津中学校	188	46,098
	江東中学校	191	13,491
	青陵中学校	185	53,953
	桜江中学校	193	15,097
	江津幼稚園	134	7,128
	江津学校給食センター	200	4,525
	桜江学校給食センター	199	1,000
	計	2,805	377,526

○事業の実績

費目	内容等	決算額（円）
報償費	謝礼金	7,500
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	28,220,462
役務費	電話料等	1,879,302
委託料	給食車運転業務委託料等	10,660,680
使用料及び賃借料	C A T V、印刷機使用料等	348,867
備品購入費	調理用備品等	976,104
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	60,421,739
公課費	給食車重量税	134,800
	合計	102,649,454

○事業の効果

安全安心及び栄養バランスを考慮した給食を提供し、児童生徒の健全な心と身体の発育の一助に寄与することができた。また、食物アレルギーのある児童生徒に対しては、アレルギー対応食の提供を行い、全児童生徒が学校給食を楽しめるよう努めた。